

免許状教科	中学校 1 種 社会、高校 1 種 公民		
科目名	日本経済論 II	科目分類	教職科目
			経済学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択
			学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択
英文表記	Japanese economy	開講年次	<input type="checkbox"/> 1 年 <input type="checkbox"/> 2 年 <input checked="" type="checkbox"/> 3 年 <input type="checkbox"/> 4 年
ふりがな	たかちほ やすなが	開講期間	<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
担当者名	高千穂 安長	修得単位	2 単位
授業のテーマ	停滞を深めた日本経済再生のための行動を考察する。		
授業概要	「改革なくして成長なし」など多くの日本経済再生のための行動を経済学の視点からレビューする。		
到達目標	経済記事が理解でき、自分の意見を表明できるようになる。		
授業時間外の学習	各回の講義時に、次回の講義レジュメが配布される。参考図書や web により事前学習をしていることが望ましい。		
履修条件	なし。		
授業計画			
第 1 回	イントロダクション 日本経済 I の復習		
第 2 回	小泉構造改革とその反動の日本経済 1		
第 3 回	小泉構造改革とその反動の日本経済 2		
第 4 回	小泉構造改革とその反動の日本経済 3		
第 5 回	経済減速・少子高齢化・経済のグローバル化の日本経済 1		
第 6 回	経済減速・少子高齢化・経済のグローバル化の日本経済 2		
第 7 回	経済減速・少子高齢化・経済のグローバル化の日本経済 3		
第 8 回	経済減速・少子高齢化・経済のグローバル化の日本経済 4		
第 9 回	社会保障と税の一体改革 1		
第 10 回	社会保障と税の一体改革 2		
第 11 回	社会保障と税の一体改革 3		
第 12 回	アベノミクスと経済成長の日本経済 1		
第 13 回	アベノミクスと経済成長の日本経済 2		
第 14 回	アベノミクスと経済成長の日本経済 3		
第 15 回	総復習 学生の理解が低い箇所について解説		
第 16 回	定期試験		
テキスト	毎回、次回講義レジュメを配布する。		
参考文献・資料	1 小峰隆夫・村田啓子 2012 『最新日本経済入門』日本評論社 2 日本経済新聞社『ゼミナール日本経済入門』日本経済新聞社		
成績評価の方法	出席が 2/3 に満たない場合は受験を認めない。また、遅刻は 1 回につき 1/3 欠席とする。成績評価は、受講態度(含討議参加度)など平常点 40%、期末テスト 40%、ミニテスト等 20%とする。		
成績評価基準	秀(100~90)、優(100~80 点)、良(79~70 点)、可(69~60 点)、不可(59 点以下)		
オフィスアワー	月曜 2 限、水曜 4 限		
学生へのメッセージ	世界経済の中で日本はどのように行動すべきかを考え、ニュースなどにも注意を払って欲しい。		

